

もみじ福祉会 ニュース

# がんばるうや

2001年11月 第28号

発行/社会福祉法人  
もみじ福祉会



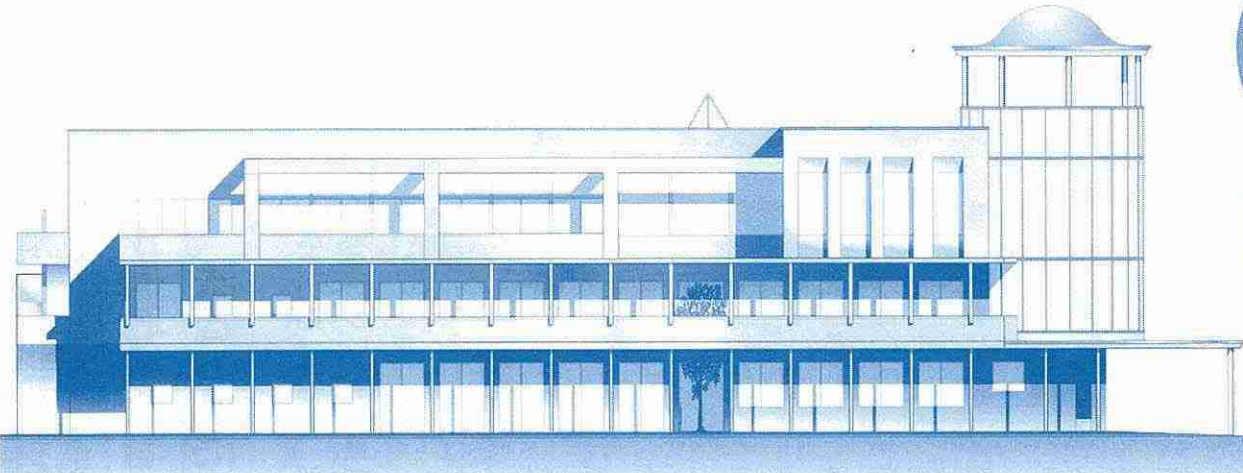
知的障害者授産施設(通所) 第一もみじ作業所  
身体障害者通所授産施設 第二もみじ作業所  
グループホーム つばさ・たんぽぽ  
〒730-0823 広島県広島市中区吉島西2-1-24  
TEL(082)243-0331 FAX(082)243-0497  
HP: www.fukushi-momiji.or.jp

### もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

## ぼくらの街にみんなのお家を!



私たちの目指す「身障ホーム・グループホーム・地域交流スペース合築施設」の完成予想図です。外観だけでなく、中にはみんなの想い・願い・夢がいっぱい詰まっています。

## あなたも 夢づくり 応援団に なごってください



毎日通るいつもの町の  
いつもの道が好きだから  
毎日かわす、いつもの笑顔  
いつもの仲間が好きだから  
ずっとずっとこの町で  
ずっとずっと仲間を働かながら  
生きていきたい (K太)

こんな障害者・親の願いを表現しようと、もみじ福祉会では「身障福祉ホーム・グループホーム・地域交流スペース合築施設」建設をめざしています。そして、本年二月の後援会主催の「梅原司平チャリティコンサート」を皮切りに「夢づくり応援団」二億円へのチャレンジが始まりました。

半年あまりで、早くも三百名を超える団員の皆様を迎えました。

長引く不況や悲惨な事件による世情不安の中、皆様の暖かいお気持ちがあひひしと伝わって来て、こころ熱くなります。

団費振り込み用紙の片隅に書き込んで頂いたメッセージ、あ

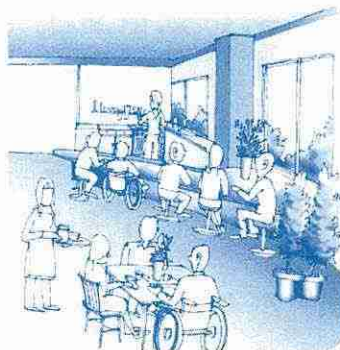
仲間の一人が「親が倒れたら僕は作業所に通えなくなると思う」と毎日不安でたまりません」と訴えました。私の子どもも手も足も不自由ですが、毎日自分がやれる仕事がある作業所が大好きです。

保護者も高齢になり、そう遠くない将来、もう介護してやれない時がくる我が子を残して先立つ時がきます。生活基盤を年老いた親に頼ってはいやがて作業所に通うこともできなくなります。

ギリギリ追いつめられた私たちは、「親亡きあとではなく、親が元気な間に家族以外の人と暮らせる自立した我が子を見届けてやりたい」と、各地の重度障害者が地域で暮らすホームを見学して、夢をふくらませました。

建設資金達成のために一人でも多くの方のご支援を頂きますよう心よりお願い致します。

(S男)



るいは同封頂いたお手紙の一部を紹介させていただきます。

大変な事業に取り組まれているので、すね。福祉社会の充実につながる大切な事業です。頑張って下さい。夢づくりの実現を祈念しています。気持ちばかりしかできませんが、応援のしるしに寄付をさせて頂きました。苦勞も多いと思います。健康にご留意下さい。(岩本様)

コンサート見に行きました。みんなで頑張ればきっとホームもできるでしょう。力を合わせて前に進みましょう。(小谷様)

500円玉貯金をしました。ほんの少しですがよろしく。(結様)

「合築」というのが気に入りました。本気になって力を合わせれば、こんな素晴らしいものができる!ということを実感したいですね。(渡部様)

仲間の皆さんお元気ですか。がんばってください!(花田様)

「どんぐりの家」シリーズを全巻読んだばかりで、これでもまだだまだと思いますが、頑張ってください。(堀田様)

前略、過日は失礼しました。少額ですが寄付させていただきます。夢が実現することを願っております。草々(松浦様)

安心して暮らせるホームづくりは、あたりまえの要求であり、権利でもあるはず!福祉の充実につながる『夢』の実現を応援します。(ひかり協会職労 広島分会様)

沢山の感動をありがとうございました。夢と希望をいっぱいいただきました。(斉藤様)

●お知らせ●

もっと人間! もっと愛!  
あのやさしさを再び

身障ホーム・グループホーム合築施設建設支援

## 梅原司平 チャリティコンサートII

とき: 2002年3月9日(土)  
ところ: 広島市南区民文化センター・ホール  
主催: もみじ福祉会後援会  
梅原司平チャリティコンサートII 実行委員会

ご期待下さい。



夢づくり応援団へのご寄付は  
以下へお願いします。

<郵便振込み> 01350-5-19452  
夢づくり応援団





# もみじの仲間も かけつけた

# 学生無年金障害者訴訟 支援の輪を広げて ついに第一回裁判開かれる



「写真とらせて!」「いいヨ!」  
同じクッキーグループの仲間と、ちょっとおすまして……。

学生無年金障害者への障害基礎年金支給を求める運動は、本年四月二十七日付で再審査請求が棄却されたのを受けて、いよいよ裁判ということになりました。

つけていただき、ほんとうにありがとうございます。今後とも、ご支援いただきますようよろしくお願い致します。以下に、当日の様子について事務局から報告します。周囲の人たちにもお伝えいただき、支援の輪を広げていただければ幸いです。

## 第一回裁判報告

### 傍聴協力者なんと150名をこえる 法廷の外にも100名の人があふれて

広島での第一回裁判、並びに報告集会について、簡単ですが報告いたします。

当初五十名もあればいいと思っていた傍聴協力者は、なんとふたを開けてみれば、百五十名を超え、法廷の外には百名以上の人があふれていました。すごかったです。あまりの人数の多さに、傍聴券が配られることになりました。車椅子使用者五名と介助者一名については、裁判所との交渉の結果、傍聴券なしで入ることができました。これは、裁判所としては異例の対応だということでした。

裁判では、鳥羽秀範さんのお母さんの智子さんが「補佐人として」お話をされ、いつもながら心動かされるお話でした。裁判は十五分程度で終わり、その

後、報告集会が弁護士会館で行われました。報告集会の会場も人がいっぱいでした。集会では、傍聴者の感想として、鳥羽秀範さんの通っているもみじ作業所の仲間から「一生懸命応援したい」という声も聞くことができました。とても良かったです。

それと、鳥羽さんとう一人の原告のお母さんにも来て頂くことができ、一言発言していただくことができました。いつも鳥羽さんが前面に出ているのでこれを機に広島にはもう一人原告がいるということアピールできたかなと思えました。以上、報告でした。

事務局 澤屋



## 仲間の笑顔と元気に迎えられる

加藤寛治さん

近頃、仕事中に仲間(通所者)の中から「私、もうすぐ二十九歳、来年は三十歳よ」「僕は今年で三十でーす」という声がかかるようになってきました。私が最初ボランティアとして始めた頃は、確か二十二とか二十四歳とか言っていたので、もうそんなになるのかと気になって、日記を見たところ、やはり六年がすぎていました。

定年になったら、週に二、三日ボランティアをして、後は気儘に好きなことをして毎日が送れたら良いなと思っていました。

リアフリーについても関心を持つようになりました。

九四年七月の定年後も嘱託として、月に七、八日出る仕事をもらいましたが、働く時間は少なく、やはり何かボランティアをしたいという気持ちになりました。自分で探しても見つからないので、市役所に聞きに行ったところ、中区社会福祉センターに行くように言われ、そこでもみじを紹介されました。九五年五月の日までダンボールでお手伝いさせてもらっています。

ダンボールの部屋では、仕事が始まると「昨日はカーブが勝つたよ」「明日の天気は晴れ」とか「昨日の晩ご飯は水炊き」とにぎやかな会話がはずみます。その中でも、「今日は〇〇さんの誕生日」「明日は△△君の誕生日」と仲間・職員さんの誕生日を全部覚えていて仲間がいて感じします。

仲間達の生き生きした屈託のない笑顔・清潔な身なり・職員さんの細やかな気配りや優しさをみるにつけ、家庭でも、作業所でも、とても大切にされているんだなと感じます。

マツダの宇品第二工場の閉鎖で、ダンボールグループの仕事量も減るのではないかと、心配していましたが、あまり落ち込みはないよう安心していきます。

幸い、身体に具合の悪いところもありませんので、引き続き元気をもらいに作業所へ来たいと思っています。これからも、一緒に楽しく仕事をしましょう。仲間・職員のみなさん、よろしくお願います。

加藤さんに作業所へ来て頂くようになり、はや6年。その間、一緒に仕事をしてもらうだけでなく、仲間の話し相手になってくれたり、優しく色々なことを教えてくれたり、時には「急ぎの仕事が入ったので来て!」というSOSの電話に次の日に駆けつけてくれたりと、お世話になっています。

色々と見習うことが多く、仲間にも、そして職員にとっても大きな存在です。本当に、こちらこそ末永くよろしくお願います。



ダンボールグループのみんなと「ハイ、チーズ!」

ある仲間が手話で話しかけてくれるのが全然わからないため、手話の勉強をちょっとだけしました。宮崎へバックツアーで行った際、聴覚障害者の方が二人、視覚障害者の方が一人の三人で参加しておられました。私が片言の手話で話しかけたらとても喜んでもらい、こちらも嬉しくなったことがあり

ここに来るまで作業所というものを全く知りませんでした。新聞・テレビの作業所関連の報道を注意して見たり、建物や施設のバ

1年の計は、カレンダーから(9)とろぞ、30シク!

## 鳥羽くんがバレー! 応援歌

裁判の応援に行った仲間から鳥羽くんへのメッセージや感想などをもらいました。

## いい年末年始をお過ごし下さい。





### 学生無年金障害者訴訟 支援全国連絡会

**結成**

9月30日に「学生無年金障害者訴訟支援全国連絡会」が結成されました。鳥羽くんの他にも多くの学生無年金障害者の方がおられます。一日も早く彼に年金がおりることを願っています。誰でもとな人でも幸せにくらせる世の中になりますように。



宿泊訓練で仲間と一緒に料理作りにトライ!

## 研修報告

### きょうされん 第九回 生活施設・グループ ホーム交流会

愛知県豊橋市で全国から百三十七名が参加して、九月七、八日の二日間研修が行われました。初日は基調報告と政策提言案が発表され、小規模通所授産施設制度や支援費支給(利用契約)導入について大まかな説明が行われました。入所施設の実態や現行制度の不備を指摘しながらも、新制度導入の前に障害のある人たちが当たり前に暮らしていけるように政策提言の全容を示し検討を得たいということでした。シンポジウムでは「障害のある人の豊かな地域生活を確立するために」をテーマに、四人のシンポジストが違った立場から生活内容を発表されました。

#### 二日目の分科会では「グループホームの運営について」に参加しました。愛知県ゆたか福祉会の「複数グループホームの運営とグループホームネットとしての集団化」について説明された。

二日間の研修を通して同じように宿泊しているキーパーさんの悩みや意見などを聞くことができ、お互いに励みにもなり参考になる意見を聞くことが出来て大変良かったです。特に政策提言の内容を知り、現在のグループホームの実態や現行制度の不備を改善していかなくては、本当に障害者が当たり前の生活は絶対に築けないと強く思いました。

倉橋 玉実

### きょうされん 事業委員会 学習交流会

九月二十一、二十二日、きょうされん広島県支部財政事業委員会主催の学習交流会が甲奴郡にある「社会就労センター」

「社会就労センター」にある「社会就労センター」あらくさ」で行われました。一日目は夕方から映画鑑賞、その後、地元の牛肉や野菜を使ったバーベキュー大会。各施設での裏話や苦労話など、笑いあり真剣な話ありの楽しい交流会でした。

二日目は、はじめにきょうされん財政事業部長の安川氏による講演がありました。今回の学習会のテーマは「地域に発進する仕事づくりと職員の役割」ということで、主に事業活動の意義と仕事おこしについて話されました。私自身、仲間のポナス資金作り担当ということもあり、販売活動の意義について改めて考えさせられました。作業所の実情を訴え、ファンを増や

早く裁判が解決するといいな (中)  
鳥羽くんはたたくお金があるといいな。 (小西)  
鳥羽くん、ガンバしろー! (百倉)  
無年金で大変だってお母さんの話を聞いて、涙が出そうになった。 (百倉)  
僕らは生まれつきの障害で、自動的に年金がもらえるけど、鳥羽くんは中途障害だから、年金をもらえない。国が年金に全額入るよう頑張らなかつたのに、今さら、年金に入らなかつたのは、自分たちのせいだと言われども、困るよね。 (泉本)  
裁判所に行ったのは初めてのことで、ちょっと緊張しました。話の時は静かに聞いていました。鳥羽君のお母さんが立ってお話をしていました。鳥羽くんがんばって下さい! (太平)

すという運動としての視点も忘れてはいけない、地域の人を変えていくくらいの気持ちをもつて仲間と一緒に取り組んでいかなくてはいけないのだと身にしみる話でした。  
その後、ビデオも使った六つの作業所の実践報告が行われました。各作業所とも、「仲間一人一人にふさわしい仕事とは?」という共通の課題を抱え、様々な仕事を行っています。しいたけ作り、洗車、はがき書き、名刺作り、木工、農業、下請け、お菓子作り。しかし、仕事を考えていく上で、作業所が地域に果たす役割や、給料の保障などまだまだ考えていかななくてはいけない課題が山積みなのが現状です。その仕事を通して、いかに地域と結びついていくか、ここからしかできないことはなにか等。各作業所の横のつながりを大切にしながら、報告でも言われた「できないこと探しよりできること探しをしていこう」と思いました。

中本美也子

## 行事日誌

- | 9月                    | 10月                   |
|-----------------------|-----------------------|
| 1日 もみじ福祉会後援会総会        | 1日 全労済より実習開始          |
| 4日 通所者検診(採血)          | 介護等体験実習開始             |
| 浜崎先生絵画教室①             | 2日 司法修習生実習来所          |
| 5日 県立女子大より実習(～20日)    | 7日 ねりんピック太鼓演奏・展示      |
| もみじ作業所・地域販売デー         | 全国健康福祉祭り出店            |
| 7日 ふれあいランド出品(～8日)     | 11日 電気一斉点検            |
| 8日 第3回さをり展示即売会(～9日)   | 12日 夢を形に委員会・ミニ街頭カンパ活動 |
| 9日 県知的障害者陸上競技大会参加     | 市福祉事業団見学来所            |
| 10日 生協ひろしまより寄付贈呈式     | 14日 ボランティアフェスティバル参加   |
| 中福祉事務所関係見学来所          | 障害者フライングディスク大会参加      |
| 11日 通所者検診①            | 16日 生活自立訓練D-2         |
| 生活自立訓練B-2             | 19日 県福祉事業団より見学来所      |
| 12日 市立養護学校より見学来所      | みどり作業所等見学来所           |
| 14日 浜崎先生絵画教室②         | 20日 県立女子大紫苑祭出店        |
| 17日 通所者検診②            | 21日 夢を形に委員会・街頭カンパ活動   |
| 市立養護学校より見学来所          | 22日 もみじ福祉会第7回評議員会     |
| 18日 生活自立訓練C-2         | もみじ福祉会第41回理事会         |
| 19日 通所者検診③            | 23日 いもほり招待            |
| 20日 鳥羽氏無年金訴訟・第1回口頭弁論  | 介護等体験追加実習             |
| 22日 進徳学園文化祭バザー出店      | 25日 鳥羽氏無年金訴訟第2回裁判     |
| 床ワックス清掃               | 28日 障害児子ども祭り参加        |
| 24日 三育学園バザー出店         | 29日 市立養護学校との交流会       |
| 25日 家庭裁判所より実習来所(～27日) | 防災点検①                 |
| 28日 もみじ作業所一泊旅行        | 30日 生活自立訓練A-3         |

もみじのオリジナル商品をお側に!

インフォメーション

**クリスマスギフトセット**  
—1500円—  
セイロン紅茶(リーフタイプ)  
無農薬紅茶(ティーパック)  
オリジナルクッキー  
抹茶クッキー  
リース

**コーヒーセットA**  
—850円—  
無農薬コーヒー  
オリジナルクッキー  
リース付き箱

**クリスマスフレーム**  
—850円—

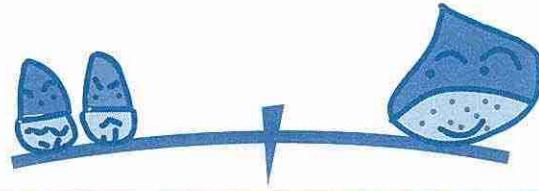
**コーヒーセットB**  
—400円—  
コーヒー  
オリジナルクッキー

**スケジュールノートセット**  
—600円—  
2002年のスケジュールノートとかわいいX'mas仕様のクリップ付

**もみじオリジナルトレーナー**  
—2500円—  
カラー:白、黒、グレー、紺、赤  
サイズ:S、M、L、LL

**もみじオリジナルカレンダー**  
—800円—

その他、クリスマス柄のポプリやティッシュケース、リースなど色々取りそろえています。





もみじも ちよっぴ 社会貢献

実習生さんいらっしゃい

「もみじ作業所」は障害者の働く作業所(授産施設)で、障害者が昼間の時間、仲間とともにいきいきと働き、生活できる場を保障しようとするものです。



はじめての? 食事介助 一実習生のお口もいっしょに「ア〜ン」

さて、しかし、作業所は周囲から頂いてばかりでもありません。大げさかも知れませんが、立派に「社会貢献」もしています。

その一つが「実習・研修生」の受け入れです。もみじ作業所には二〇〇〇年度、のべ三百五十人の実習・研修(生)が来られました。二〇〇一年度はもっと増えそうです。

さて、実習に来られた方の感想は様々ですが、一応「びっくり」され、元気にいられます。それは、もみじ作業所で働く仲間の明るさと自由さからです。

私の大好きなもみじの歌の中に「一度だけの人生だから」というのがあります。

二度とない人生を悔いなく送るためにも、今日という日を楽しく仲間と共に働き、共に学び、共に憩える場づくり、夢づくりにと頑張っていきたいと思っています。宜敷くお願い致します。

輝け!! New Face



江島勝美さん

七月よりもみじ作業所の生活支援を担当しております。江島勝美です。

逆、私たちも「外から見た作業所」が知られて勉強になります。また、通所者(仲間)たちは、お客さんが大好きで、いつでもどんな方でも歓迎します。



写真担当「今日は、えらくがんばってるねー?!」担当職員「女子大生が毎日来てくれるのはかどりますよー」

ここに、今年実習に来られた何人かの感想を紹介します。

障害の程度によってか、パソコンを障害者に使い易くされて、自分の仕事として通所しておられるのにおどろきました。

まず、このような機会を与えて頂いて感謝しています。特に私は社会人で、一般企業に勤務しておりますが、きつこのままもみじに来なければ、健常者同志で固まった集団の中にもまれ、何らかの障害を持った方に健康なうちはありません。

もみじの仲間や職員の皆様から言葉ではない、あったかいものとこれから私が企業の中でどうあるべきかを考える大きな課題を頂きました。

皆さんも時間がありません。ぜひ一度もみじ作業所に見学に来て下さい。仲間・職員一同歓迎します。(但し、事前の申し込みをお忘れなく)

後援会コーナー

2001年度、後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様 (7/11~9/30まで、敬称略)

- 桑原 悦子 植田 治子 古川 大介
栗田 朱美 児子 俊子 堀 嘉津子
御堂河内幸子 一柳ミヤ子 田代由美江
対尾 伴子 串山 陽三 永井 郁江
中島 久子 高田 尚 堀 卓

編集後記

輝かしいはずだった二十一世紀の幕開け... テロに報復戦争(障害者の大量生産)、長期不況に名を借りたりス...

グループホーム・身障ホーム合築施設建設支援

夢づくり応援団

あいがとうございます。 (7月1日~9月30日まで 敬称略)

- 山本 隆雄 池内 利美 高美 直行
山本 隆雄 池内 利美 高美 直行
山本 隆雄 池内 利美 高美 直行

- 進泉史 正利 弘美 美子 江子 子 子
岡村 本田 阪田 真 真 真
上村 岩崎 細田 花井 井 井